

令和5年度 予算編成方針

行 財 政 局 長

1. 本市の財政状況と今後の見通し

本市は阪神・淡路大震災により、一時は危機的な財政状況に陥る中、徹底した行財政改革の断行により、健全化判断比率は着実に改善し、指定都市の上位程度にまで回復した。しかしながら、新型コロナウイルス感染症に迅速に対応するため、財政調整基金を取り崩すなどの財源対策を実施し、これまで感染拡大防止対策や医療提供体制の安定的確保、市民・事業者の支援を行ってきた。また、ロシアのウクライナ侵攻を背景としたエネルギー・食料品等の価格高騰や急速な円安は、市民の暮らしや事業者の経営環境に大きな影響を与えており、さらに、公共施設の光熱費や公共事業の事業費が増高するなど、想定外の財政需要の発生により、本市の財政状況は一層、厳しくなると見込まれる。

今後、神戸が持続可能な大都市経営を実現していくためには、目の前に迫る感染症の危機や物価高騰への対応に加え、従前からの課題である社会保障関係費の増加や人口減少の克服に向けたまちの質・くらしの質の向上などに対応できる、外的要因に左右されない強い財政基盤の確立が重要である。また、感染症の動向や物価高騰は依然として不透明であり、今後の財政運営にあたっては引き続き、危機感を持って臨む必要がある。

2. 予算編成の基本的な考え方

令和5年度予算編成にあたっては、コロナ禍における原油価格・物価高騰対策と、感染拡大防止・医療提供体制の安定的確保を継続することにより、市民の生活を守ることを最優先に取り組む。

また、SDGsの達成を目指す「神戸2025ビジョン」に掲げる施策を、スピード感をもって展開することにより、くらしの質と都市の価値を高めていくとともに、将来世代が過度な負担を背負い込むことがないように、堅実な成長戦略により、さらなる都市の成長を促す好循環を創出していく。さらに、神戸空港の国際化に向け、新たな施策の構築や既存施策の再構築に取り組むことで、神戸を「さらなる高み」へ押し上げ、「海と山が育むグローバル貢献都市」の実現を確かなものにしていく。

これらの考えのもと、市民の命と生活を守り、ポストコロナ時代や神戸空港の国際化を見据え、神戸を新たなステージへと発展させていくために、以下の7つの柱に沿って予算の中身を大胆に重点化する。

- 1 コロナに打ち克ち、物価高騰に対応する
- 2 健康・安全を守る
- 3 温もりのある地域社会を創る
- 4 のびやかなくらしと環境を創る
- 5 力強い神戸経済を創る
- 6 未来に輝く神戸の街を創る
- 7 DXの活用による市民参加を進める

3. 予算要求・財源配分にあたっての考え方

「海と山が育むグローバル貢献都市」の実現を目指し、特に優先的に取り組むべき施策については、予算の要求上限を設けないが、上記の厳しい財政状況等を鑑み、徹底した議論を行い、選択と集中により財源を配分する。

一方で、持続可能な大都市経営を行っていくため、全ての職員が「やめる勇気」を持って、事務事業の見直しや業務改革、組織の最適化等による総人件費の抑制を着実に進める必要があるため、令和2年度に策定した「行財政改革方針2025」に全力で取り組む。

そのため、別紙「令和5年度予算編成に向けた事務事業の見直し候補一覧」に掲げる項目については、今後の予算編成過程において各局室区と見直しの検討・協議を行う。

なお、事務事業の見直しにあたっては、以下の視点をもって、前例にとらわれない例外なき事務事業の見直しを強力かつ着実に実行していく。

- ① 時代適合性、費用対効果、受益と負担、事業の持続可能性などの観点により、「やめる・へらす・かえる」の見直しに取り組む。
- ② デジタル技術やデータの利活用など DX の活用、施策の大括り化や類似事業等の統合・整理による内部管理事務や業務執行体制・手法の見直しに取り組む。
- ③ 既存施策について、SDGs の達成や with コロナ、ポストコロナ時代における社会経済情勢の変化に対応したものへと転換をはかる。

令和5年度予算 経常概算 財源の見通し

I. 充当一般財源の状況

(単位：億円)

	R 5 年度経常概算	R 4 年度予算	増△減
充当一般財源	4,861	4,885	△24
市税	3,147	3,083	64
譲与税・交付金	593	592	1
交付税・臨時財政対策債	1,015	1,094	△79
その他	106	116	△10

II. 所要一般財源の状況

	R 5 年度経常概算	R 4 年度予算	増△減
所要一般財源	4,821	4,885	△64
義務的経費	3,637	3,650	△13
人件費	1,722	1,733	△11
扶助費	1,194	1,167	27
公債費	721	750	△29
投資的経費・物件費等	1,184	1,235	△51

III. 財源の見通し

(単位：億円)

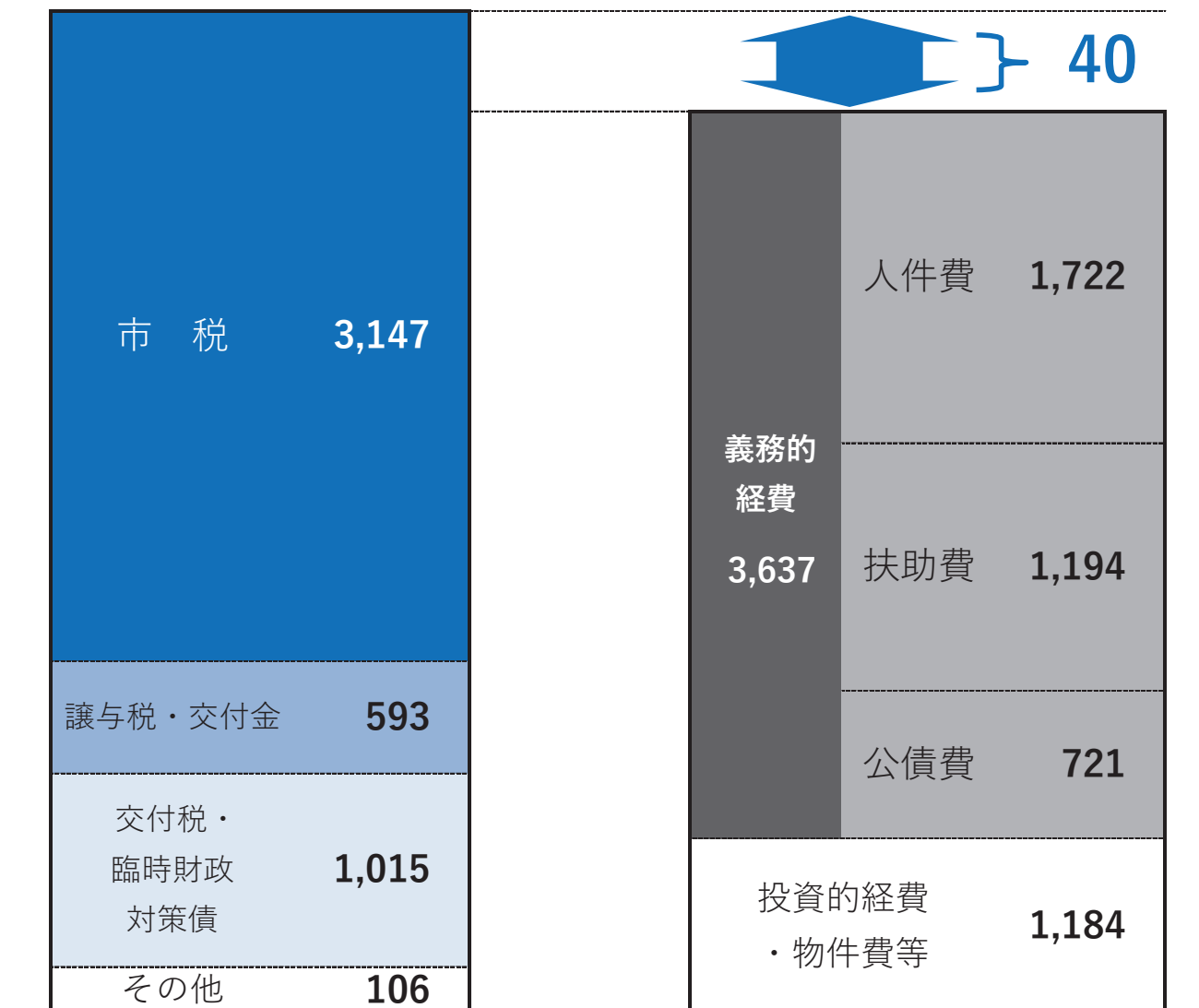
I 5年度経常概算
 充当一般財源

4,861

II 5年度経常概算
 所要一般財源

4,821

政策予算（新規・拡充）
 充当可能財源



※計数等については、今後の税制改正や地方財政対策の状況等を踏まえ、精査・置換えを予定

令和5年度予算編成に向けた事務事業の見直し候補一覧

別紙

No.	所管局	事業名	方向性	概要	見直し案	R4当初 予算 (千円)	うち 一般財源 (千円)
1	行財政局	税務業務改革	整理・ 効率化	ICT活用等による利便性向上と事務効率化による市民サービスの向上と適正課税の推進	税務行政手続きの電子化等DXの推進による業務効率化・体制のスリム化	253,842	253,842
2	企画調整局 行財政局	働き方改革（業務改革）	整理・ 効率化	働き方改革ロードマップ2.0に基づいた徹底した業務改革の遂行	・行政手続きスマート化とBPRによる効率化 ・DXの推進	-	-
3	企画調整局	印刷環境最適化	整理・ 効率化	庁内の複写サービスにかかる経費	ペーパーレス化の促進による経費削減	136,503	136,503
4	福祉局	利子補助（福祉医療機構融資、施設整備資金融資）	縮小	福祉施設整備を行う社会福祉法人に対して、独立行政法人福祉医療機構の融資及び神戸市民間社会福祉施設整備資金・用地取得資金融資にかかる利子を補助	令和5年度より新規受付を停止	288,321	288,321
5	健康局	難病患者支援事業	整理・ 効率化	難病患者団体（NPO法人神戸市難病団体連絡協議会）が実施する相談事業、難病医療相談会、患者及び家族向けの講演会等への補助	難病相談室における相談事業などピアサポートの実施体制の見直し	7,300	5,888
6	建設局	道路美化事業	整理・ 効率化	道路・駅周辺歩道等の美化作業（街渠浚渫・草刈等）	一部の路肩草刈作業と街路樹等の維持管理作業を一括委託・管理することによる効率化	916,000	906,183
7	建設局	公園の指定管理（相楽園、離宮公園、森林植物園、北神戸田園スポーツ公園）	整理・ 効率化	園地・施設の管理運営 等	適正な管理体制の見直し	491,372	337,923
8	建設局	緑地助成（市民の木・森、市民公園等）	整理・ 効率化	市民の木・森や市民公園の維持管理に係る助成	制度間の統合及び助成額の大括り化と適正化	12,017	11,767
9	都市局	まちづくり専門家派遣事業	整理・ 効率化	地域団体からの要請に基づくまちづくり専門家（アドバイザー、コンサルタント）の派遣	10年以上継続しているコンサルタント派遣を、まちづくり活動団体の自立を促すためにアドバイザー派遣へ転換	40,000	20,000
10	建築住宅局	シェアハウス転用リフォーム補助	廃止	外国人やひとり親世帯などの住宅確保要配慮者を支援するNPO等に対して、既存住宅のシェアハウスへの転用に係る経費を補助	過去の実績等に基づき廃止	1,000	550

令和5年度予算編成に向けた事務事業の見直し候補一覧

別紙

No.	所管局	事業名	方向性	概要	見直し案	R4当初 予算 (千円)	うち 一般財源 (千円)
11	建築住宅局	神戸市インナーシティ 高齢者向け民間賃貸マ ンション家賃補助	整理・ 効率化	民間土地所有者が当該融資制度を 利用して建設した高齢者向け民間 賃貸マンションに入居する高齢者 への家賃補助	空室の一般開放などによる入居率 の向上と補助額の軽減	62,063	34,135
12	教育委員会 事務局	学校施設管理業務	整理・ 効率化	各学校園における校地・校舎の環 境整備、安全管理、パトロール、 教育委員会等との連絡業務	一部の小・中学校の学校管理業務 において人材派遣の活用等により 体制を効率化	3,205,769	3,205,769
13	教育委員会 事務局	小学校給食業務委託	整理・ 効率化	小学校給食の調理等業務	自校調理校2校に給食調理等業務 の民間委託を導入し体制を効率化 (合計30校)	3,613,553	3,613,553